



新製品 カンキツなどの高品質果実の安定生産に

S.シート+ プラス

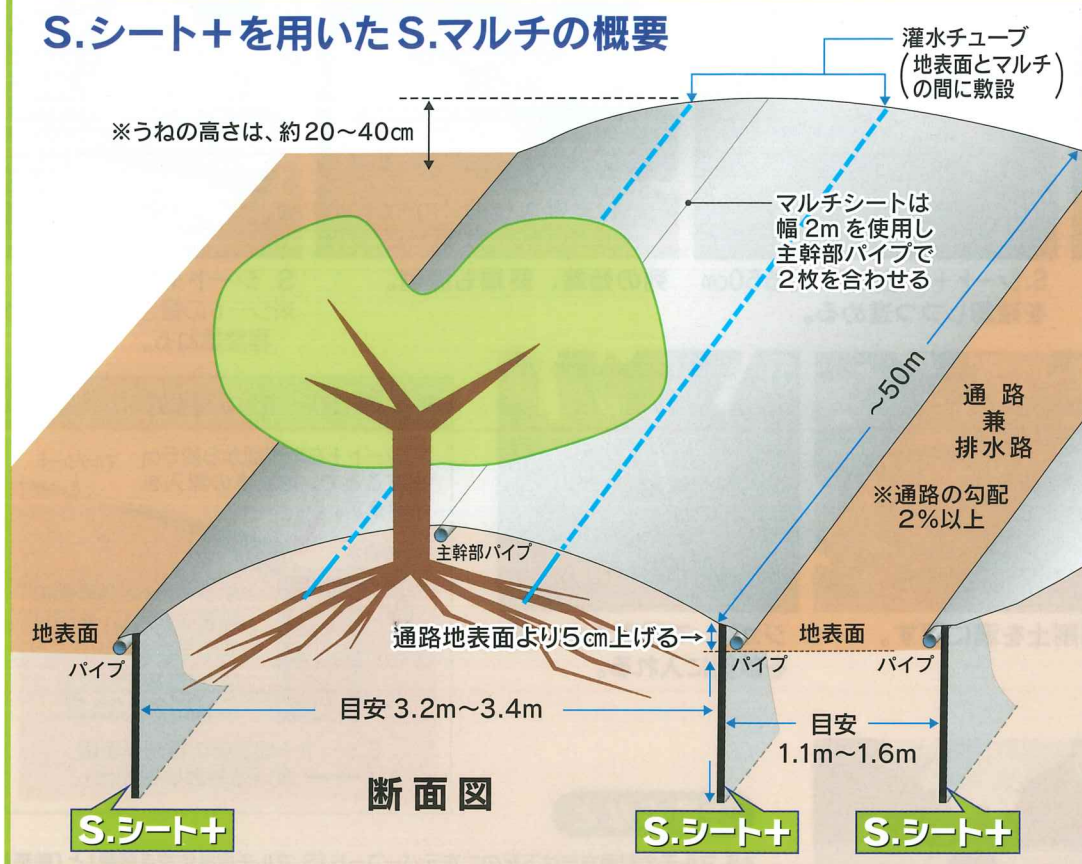
特許出願中
特開2022-103286
(農研機構)

S.シート+は資源循環に向けた取り組みを推進するため、再生プラスチックを20%以上使用しています。性能は旧製品のS.シートと同等です。

S.シート+は、高品質なミカンを作る技術として農研機構が開発したシールドイング・マルチ栽培(S.マルチ)に適した資材です。S.マルチは、従来のマルチ栽培の問題だった根域への雨水の流入と、マルチ外への根の伸長を抑えることで、より確実な高品質果実生産につながります。

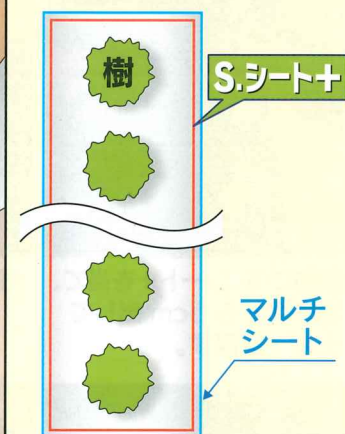
利用方法 (概略図)

S.シート+を用いたS.マルチの概要



施工例

上から見た図



S.シート+は列単位でマルチシートの内側に納まるように埋設します。

効果

中生温州、普通温州についても効果実証済み

系統	処理区	糖度 (Brix%)	酸度 (%)	果実重 (%)
極早生 温州ミカン	S.マルチ区	13.4 a	0.79 a	94.1 b
	従来マルチ区	11.2 b	0.66 b	112.8 a
	マルチなし区	8.1 c	0.73 ab	131.6 a
早生 温州ミカン	S.マルチ区	13.8 a	0.99 a	89.7 b
	従来マルチ区	10.6 b	0.74 b	109.7 a
	マルチなし区	10.0 c	0.80 b	125.2 a

異なるアルファベットは品種別処理区間で有意差あり (1区の反復数は7樹)

調査地: 農研機構興津カンキツ研究拠点

おすすめする方

- 安定して高品質なカンキツ(みかん)を作りたい方
- これまでマルチ栽培を行っても糖度が上がらなかった方 など

S.シート+



乾燥ストレス時の土壌の様子

S.シート+の埋設方法

表面及び裏面の写真の黒いシートは「S.シート」です。「S.シート+(プラス)」は、「S.シート」の規格変更品の為、使用目的・効果について変わりはありません。

必要な道具

S.シート+、バックホー(1.7tか2.0tを推奨、狭幅バケット装着)、水系、杭、線引き用石灰、レーキ、ジョレン、メジャー、50cm目印棒



① 埋設位置を決める。
(目安：主幹中心から1.6～1.7m)



② 埋設位置に杭を打ち、水系を張る。



③ 水系に沿って白線を引く。



④ 白線に沿ってバックホーで掘削。



⑤ うね側に上がった土はレーキで溝に落とす。



⑥ S.シート+の埋設深である50cmを確認しつつ進める。



⑦ 列の始端、終端も掘削。



⑧ S.シート+の埋設。
※シートの継ぎ足しは50cm程度重ねる。



⑨ 畝側にS.シート+を当て、地表面から5cm出して土を一部戻す。



⑩ 掘削土を溝に戻す。



⑪ ジョレンで掘削土の一部を畝側に入れる。



⑫ キャタピラーで転圧。
※S.シート+を踏まないように注意。



⑬ マルチを広げて完成。

●手順⑨～⑪の目的

S.シート+を地表面から約5cm出すことで、地表水の流入を防ぎます。

マルチシート
↓
地表水
↓
S.シート+と地表面の段差を無くし、水溜りを防ぎます。

S.シート+

S.シート+埋設後の掘削断面図
(— 青い囲み線は掘削土)

注意点など

- S.マルチの利用方法は下記の二次元バーコード「S.マルチ標準作業手順書」と「動画」をご参照ください。
- 地下水位の高い圃地は十分な効果が望めません。
- 畝や通路の勾配が小さいときは、適切な高さの畝(20～40cm)や勾配(2%以上)となるように圃地改良を行ってください。
- 通路の勾配が大きいと土壌が流失しやすくなります。その場合は、草生管理等を行ってください。
- S.シート+の裏表はありません。
- 乾燥ストレスの調整のため、灌水チューブの導入をおすすめします。
- 地表面マルチシートは別途ご購入ください。

参考情報



S.マルチ標準作業手順書 (農研機構)



関連するYouTube動画 (農研機構)

仕様

サイズ：厚さ 2.0mm×幅 550mm×長さ 30m

重量：23.1kg

材質：ポリエチレン

■販売元：日本園芸農業協同組合連合会

〒143-0001 東京都大田区東海3丁目2番1号

TEL：03-5492-5422

http://www.nichienren.or.jp/

■製造元：(株)エーワン新潟

〒943-0836 新潟県上越市北城町3丁目14番11号

TEL：025-521-7477 FAX：025-521-7497

http://www.j-shop.co.jp/a-1n/